

学校通信

No. 22 令和3年12月3日（金） 鈴鹿市立白子小学校

校内研修 ～3年「人権学習」11/16 ・ 1年「算数科」11/26～

3年B組担任（中谷教諭）による人権学習，1年B組担任（藤原教諭）による算数の公開授業を行いました。

3年生は、「実はこれ，ぜんぶ自分なんです！」という題材で人権学習に取り組みました。自分の「弱み」も含めた自分らしさを自身が受け入れ，互いに一人ひとりの「自分らしさ」を認め合うことで，友達に対する表面的・固定的な見方を多面的な見方に広め，自己肯定感の向上を願って取り組みました。

公開授業に先立ち，単元の導入で，「ぼくのニセモノをつくるには（ヨシタケシンスケ）」という絵本の読み聞かせを行ったそうです。「自分のことを自分自身が意外と分かっていない。そこで，あれこれ考え，周りの人に尋ねていく」お話で，主人公が様々な視点で新しい自分に気づき始めます。一人の人間の飾らない姿を様々な角度から見つめ，ユーモラスに描かれていて，面白い絵本です。



その後，子どもたちもじっくり時間をかけて自分をみつめ，自分の特徴をワークシートに書き溜めました。そして，その中から友達に伝えたいことを絞って，この日の公開授業で，学級全体場で発表し，感想や質問を出し合いました。自分の苦手なことやダメだと思うことを打ち明け，それを友達が共感してくれるような場面では，教室が温かい空気に包まれたようでした。

- ・〇〇さんがアドバイスしてくれたおかげで，苦手なことにもチャレンジしてみようかなと思いました。
- ・毎日牛にゆうパックを自分がぎつに入れてしまうから，〇〇ちゃんがきれいにしてくれて，やさしいなと思ったし，これからきれいに牛にゆうパックを入れようと思いました。
- ・自分からダメなこととかを話していてすごいと思ったし，わたしも自分のためなことをふりかえろうと思いました。
- ・〇〇さんが自分が思っていることが言えなくてこまっているのがいっしょだから，なかまがいてよかったし，お母さんがどう思っているか気になっているのがいっしょでした。 【授業後の感想より】

1年生は，「どちらがおおい」の単元です。この日の授業は，形状の違う3つのペットボトルに入っている水の量の比べ方を考える学習でした。「同じ形の別の容器に移し替えて高さを比べる」という方法を見出した後，実際に試してみました（写真右）。来年，2

年生で学習する「水のかさの単位（「L」「dL）」につなげるために，1年生では体積についての基礎的な感覚や量の概念を身に付けることが重要です。



◆5年みえスタディ・チェック プロトタイプの実施(11/11)

令和3年度第2回みえスタディ・チェック（5年生対象）を1月28日に予定しています。実施方法はこれまでと違い、1人1台学習端末を使用し、C B T*で実施します。ただし、記述式及び一部の短答式の問題の解答は、紙媒体で配付する解答用紙に記入します。

みえスタディ・チェックをC B T化して実施するにあたり、11月11日にネットワーク・システムの負荷の状況を把握し、みえスタディ・チェックの円滑な実施を図るため、プロトタイプでログインや解答の送信等の操作を体験し、確認しました。

子どもたちは手慣れた様子で操作を行ってました。当日は自分の力を発揮し、頑張ってくれることを期待しています。



*C B T (Computer Based Testing) : 児童生徒が学習

端末を用いて解答する調査方法。これまでの紙のみによる筆記方式の調査方法から移行します。

◆まもってくれてありがとう運動(12/1)



学校通信 No.21 でお知らせしましたように、12月1日の登校時、「まもってくれてありがとう運動」の取組として、鈴鹿地区交通安全協会、鈴鹿警察署、児童支援隊の方々に協力いただき、2か所の横断歩道で交通安全指導を行いました。子どもたちは、横断歩道を渡る際、一旦止まり、左右の安全確認をして渡ります。また、止まってくれた車の運転手さんに「ありがとうございます」とお礼を言ったり、会釈をしたりして渡っていました。

交通安全指導の後は、本校がこの運動のモデル校として指定された指定書の贈呈式を職



員玄関前で行いました。のぼり旗と横断旗もいただき、今後の交通安全指導の中で活用していきます。

今回の運動をきっかけに、横断歩道を渡る際の歩行者としてのルールやマナーを、より一層子どもたちが意識できるようになることを期待します。

一か月足らずで冬休みです。各家庭でも交通安全について、しっかり話し合ってくださいようお願いします。